

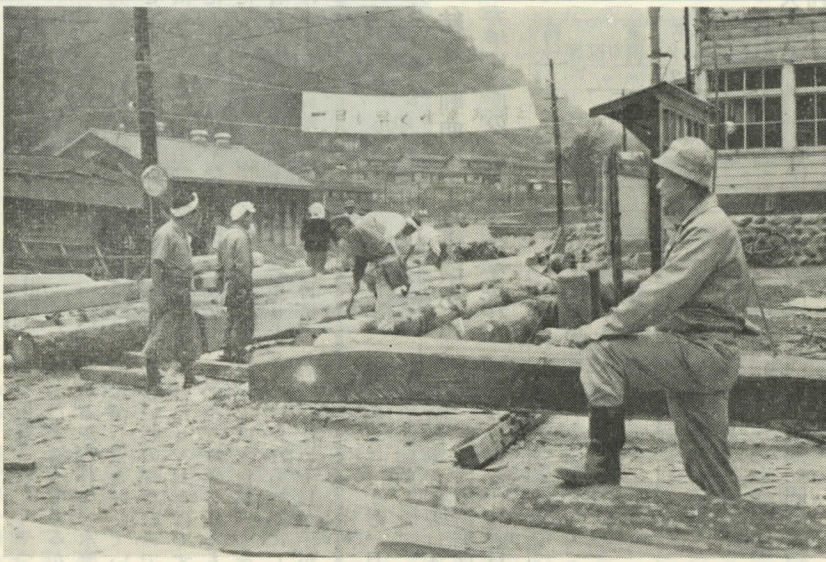


発行所  
福井県大野郡  
和泉村

(昭和40年9月1日現在)

村の人口	7人
出生	4人
死亡	67人
転入	55人
転出	4,087人
総人口	2,096人
男	1,991人
女	1,186世帯
世帯数	
村の面積	332.26平方km

**今月の目標**  
天高く馬肥ゆるの秋となりました  
1. 食欲の秋に甘んじての暴飲暴食はつしませよう。  
2. 秋は食中毒になりやすい季節です。たべものには細心の注意をしましょう。



生産再開をめざし復旧作業に励む中竜鉱業所の方々

## 十一月には生産再開へ 豪雨禍にもめげず起上った中竜鉱業所 村民挙げて協力を!

一夜にして、大被害を蒙った日本中竜鉱業所では目下生産再開を目ざして急ピッチに作業が行われている。

九月二十日告示された、本村議会議員選挙は、定数十四に対し、立候補者十六名あつたが、二名辞退され、結局十四名となり選挙期日(九月二十七日)をまたず、九月二十三日、無投票当選が決まつた。

選挙期日など、さきに決まつてはいたものの、集中豪雨のため、予定通りの執行があやぶまれていたが、任期満了が九月二十九日であることや、大被害ではあつたが、地域が中竜方面に限られていたので、予定どおり執行した。

無投票に終つたことは、一沫の淋し／＼スコップをにぎる従業員の顔には、もうあの時の恐怖の色はない。汗と泥にまみれながら、労使双方が手を取り合つて、その復旧に懸命である。その槌音は力強く、今後の見通しは明るく十一月には生産が開始できるとか。和泉の宝庫中竜鉱山の再建を、村民をあげて、心より祈るものである。

### 無投票当選

### 和泉村 十四名決まる

### 新議員の活躍に期待

川合	新井	一雄	42	団体役員	現
後野	三島	利夫	39	農業	新
朝日	加藤	良雄	44	旅館業	現
下山	宇野	一雄	47	製材業	現
上大納	谷口	豊成	68	農業	現
朝日	尾崎	彦次郎	39	建設業	現
上大納	副島	弘	29	会社社員	新
上大納	藤沢	平一	36	会社社員	現
朝日	北	正一	47	会社社員	現
上大納	吉川	基	45	商業	新
上大納	田村	重次郎	47	仕出業	現
朝日	吉村	外治	40	会社社長	新
上大納	家本	為則	48	会社重役	現
久沢	宮本	慶治	53	林業	現

### 呼びかけ(郷里を忘れるな)



朝日へ来ると、誰でも口をそろえて変つたのだなー、町だ、もう立派な町だ、という。

それは、道沿い、道裏が、家で埋つたり、店が出来たその姿を見てのこと、凡そ前の朝日と比べると、たしかに町型に近づいている。だが一歩を進め一鍬々々掘り起してその根の張り方を見ると、如何にも浅根で、どこをく、何か浮き足立つた、たゞよいがす。こうしたことも亦誰もが感ずるところであろう。

又一方、こんなことも考えさせられる。数年前の、あの百姓に精根を打ち込み、否、打ちこまねば暮しの立たなかつた頃、あの頃は別に大きな不満もなく、みんながその労苦に耐え乍ら、その状態を好みはしなかつたにもせよ、兎も角やつて来た、が、土地を失い、山を削つた今、そのつくないを、まるで天恵の如く錯覚し、更に軽量化した労働を、重労働から軽労働に転換された恩典のように考えてゆこうとしているかのように見える。

個人にしても、団体にしても、同じことだが、経済的に追いつめられたり能力以上の負荷がかつたりすること、は好ましくは思わない。然し、今は如何にも根の深い環境の変化に、経済や労働の好転に期待をかけ過ぎてはいない

(二面につづく)

○ 広報は、家族みんなで読みましょう。

# 季節風

## 四〇、九豪雨の教訓

荒れ狂った四〇・九月集中豪雨は、奥越地方に莫大な爪跡を残して去った。とくに大納川の増水が激しく、中竜鉾山と大納地区に多大の被害をもたらした。けれども尊い人命に被害をなかつたことは、不幸中の幸であった。被災者の皆様には、心中より御見舞い申し上げます。▲現地では、被害の翌日に

村長以下村当局の現地視察、その翌日には、和泉村民の心暖まる救援を仰ぎその後、県知事や国会議員の方々が現地を視察され、今やつと復旧も軌道にのつたところであるが、いつまた襲いかかるか知れない水魔は、はらはらさせながら生き伸びている現状である。苦しむ時の神だのみではないが、両手を合わせて気をほぐすより仕方ない。▲どれだけ恐しくても、人間の考える科学では大自然の力をおさえる武器はない。だからいかにして被害を最小限に食い止めるしか手がないのである。生きたるための第一条件になるのである。

## 国勢調査

結果の判明は十月中頃か、五年に一度の全国共通に行なわれる

国勢調査は、十月一日、本村でも一斉に調査を開始した。調査結果の概要は本月中頃の予定ですが、県や国の結果はさらにおくれる見込みである。調査員や、調査員の担

当区域は、次表のとおり。

調査員氏名	部地	落係	調査区番号	兼調査区番号	務号	兼調査区番号	務号
島田五三郎	下山	2	1	1	2		
末永秀一	川合貝皿	3	1	4	2		
溝口五九男	貝皿合	3	1				
野田政一	川合日	3	8				
桜川正浪	朝	5	1				
中村貞代	"	5	1				
尾花寿太郎	"	6	1				
吉川基	"	6	1				
田村二三雄	"	6	8				
森尾正夫	板倉	7	1				
宮原公夫	角野	8	1				
片岡増信	"	8	8				
谷口武雄	上大納	10	1	9	2	17	2
丸山きよ子	"	11	1				
高島与一	"	12	8				
権守光夫	"	13	1				
長谷川秀夫	"	14	1				
番屋友吉	"	15	1				
小島肇	"	16	1				
竹花一夫	長野	18	8	18-1	2		
増田金三郎	"	18	8				
和久井善一	"	18	8				
佐藤喜一郎	"	18	8				
高瀬与志	鷺長野	19	1				
新井基衛	後野伊月	21	1	20	2	26	2
三橋清市	前坂	22	1	23	2		
吹屋信幸	三面小谷野	25	1	24	2		
喜多見哲夫	三箱瀬	25	8				
斎藤正男	下箱瀬	29	1	28	2	90	2
三橋和男	上半原	31	1	27	2	92	2
吉岡和光	上半原	33	1	34	2		
田中光男	東市布	36	1	35	2		
多湖弘雄	野尻谷	38	1	37	2		
松原一雄	大谷	39	8	39-1	2		
小沢賢	大谷	40	1				
下出定幸	米伊勢	41	1	45	2		
徳本庫吉	伊久持	44	1	42	2		
山下良治	久持	49	1	46	2		
深谷晶義	沢穴	47	1	48	2		
池尾長久	幕	49	1	50	2		
計		40		18		4	

〇百里を行くに、九十里を以て半ばとす。

## 人のうらみ

### 【出生】

(八月分)

- 川合 末永 恵一 恵 長男
- 野尻 宮原 竜也 春男長男
- 大谷 池尾奈美子 盛雄二女
- 朝日 稲郷 一朗 栄一長男
- 大谷 谷川 千里 幸助長女
- 朝日 中屋ゆみ子 稔 長女
- 米俵 山本 勝利 勇 長男

### 【婚姻】

中森とき子

- 〇下半原 新谷 春義
- 〇岐阜県大野郡白川村 義島 和子
- 〇岐阜県郡上郡高鷲村 池尾 清隆
- 大谷 高浜 和子
- 〇長野 大輪 俊夫
- 〇大野市神明 奥島 朝子
- 〇大野市春日 山形 辰夫
- 〇大野市春日 上大納 辰夫

### 【死亡】

- 大谷 三島 助男 五一才
- 朝日前坂 加藤 いし 八四才

(二面からつづく)

いだろるか。もとのたくましい底力は失いはすまいが気がかりになる。例えば粗食から美食への移行は何の抵抗もなく、水の流れるが如く滑つてゆくがその逆は容易でない。くらし向きにしても、骨折りの仕方にしても、易より難に向うことは耐えられないものがあると思う。ことによると耐えようなど考えていないのかも知れない。もしそうだとすれば、現況から今後を判断すると難村しか考えられない(「これが浅見であれば幸いである」)その難村が果して当人の夢の実現になるかどうかは誰も知らない。

これは極めて単純な見方ではあるがおぼろげ乍らこんな先き行きの不安がみんなの心底に芽を出しているのではないだろうか、とすれば誠に消極的、逃避的、敗退的である、吾々の郷土であるこの大自然を放棄することなく、与えられた環境を十分に活用して、いま以上の住みよい生活の場とすべく取り組むべきと思う。而かも、出おくれぬように。

## 運動会、各地で盛ん

天高く馬こゆる秋

九月三十日目にしみる青空のもと恒例の朝日小学校、朝日幼稚園合同運動会が催され、多数の父兄参観のうちに紅白二組に分かれての得点争奪戦が展開され、わずかの差で紅組の勝利に帰し優勝旗と賞状の授与を以て四時無事に終了しました。

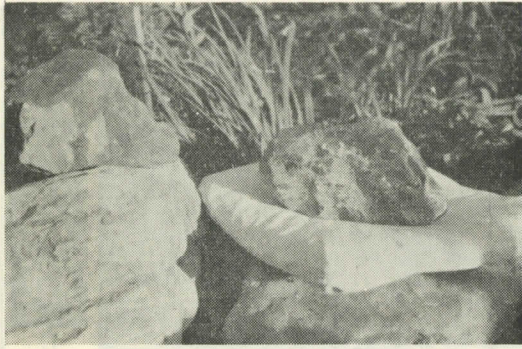
# 石ブームにのつて

## イズミサラサイシ 和泉更紗石が誕生

### 一、私達の身近にあった石

春の雪どけの頃より、鷲・長野部落の周辺の川原を魚釣りのために出かけると、電発の人がリュックを背に、手にハンマーの服装でよく石を探している姿を見かけて不思議に思っていた。ある日のこと、用地課の大野氏に探石の理由を尋ねた所、美しい五色の石があるので磨けば床飾りに立派なものであると説明され、早速完成品を拝見に及び「アッ」と驚嘆に値するものであった。即座に一目ぼれ、直ちに探石に行つたが沢山は見当らない。昨年まで

(写真は、和泉更紗石(右)と蜂の巣サングラの化石(左))



は川原にゴロゴロしていたものと判明した。時既に遅しと思ひ何処かに地層があると考へ地層の発見に努めることにした。

### 二、長野・影路・大谷地籍に発見

電発の人達の話聞き探石した所、あるわく谷の中にゴロゴロしていた。即ち長野ダムサイドのアシ谷、影路地籍の三味谷、大谷の大洞谷、此の木谷その上流の二ツの谷、又、上伊勢本流の谷にも五色の原石があつた。水にヌレている姿は実に美しい。

### 三、石の成分について

美しい石が価値があるかないか考える前にこの石は、一体どんなものかと疑問を持ち、和泉村内の地質の権威者である電発の土木課柏木課長に説明を求めた所、次のような話であつた。

此の石は、大体約二億年前の火山活動が盛んであつた頃、できた石であり古時代の後期に属し、美しい模様は、

- 白……石英・石灰
- 赤……鉄分
- 黄……酸化鉄
- 緑……マンガン
- 桃……チャート
- 黒……雲母

等で種々混合してはいつており珍らしい石であるとの話であつたが、理科系に弱い頭では、判つたような判らないような話には、判つたような判らないような気がしたが、成程と感心して拝聴に及んだ次第であつたが、珍らしい

いという言葉だけが頭に残つた。

### 四、和泉更紗石の誕生

石の珍らしいことは判明したが、価値があるのかないのかには、自信がなかつた。たまたま、九月十日号の週刊朝日の「さざれ石の金になるまで」の記事を見つて、成程、「世は石ブーム」と感心し、記事の中に、東京都探石同好会々長井上良夫氏の探石及び養石に感銘を受け、去る九月五日に公共補償及び越美線着工についての、交渉及び陳情に上京する予定につき、この機会を利用して、九頭竜川の五色の原石を持参して九月七日午後四時半頃、用務より解放されたので、谷口議長・宮本議員等と共に井上先生宅を訪れ、原石を鑑定して頂いた結果、秩父にも、五色の石が出ていたが、このように斑点で入つている五色石は珍らしい。観賞石として、ものになりますとの話であり、ただ五色石では、意味がないので、和泉村の和泉と模様が更紗に似ているので、「和泉更紗石」と名づけたいらうか、とのことで名称を頂いた次第である。

なお現在全国で二百万人もの愛好家がおるようで、観賞石として、お奨めできるが、御注意願ひたいのは、滋賀県の瀬田の石のように、とかく探石個所が暴力団の資金源にならないよう、早急に村で計画され、広く全国の愛石家に観賞できるように村で管理した方がよいとの意見でありましたので、特に強調したいと思ひます。

### 五、採石には許可が必要

私達は九頭竜川本流及び石徹白川の砂利とか石の採集については、県の許可が必要だと言ふことは、知つていますが、谷川については、村で条例が制定

され、規則で各谷川が指定されていすので、村の採石の許可が必要といふことは案外知らない方が沢山おられると思ひますので念のため申し添えます現在の所、県外の人が自家用車などで沢山、採石に来ていますが、この規則のある事を確認させると共に、大型トラックで明らかに営利を目的とするフラちな輩もあるやに、聞いていますが今後このようなことのないよう、注意すると共に、私達の村の特産、和泉更紗石を保護し、将来村の産業開発のための一助ともなれば幸いと思ひます。(加藤 良雄)

### しつかりがんばつて

熊本県球磨郡五木村立三浦小学校 四年 那須たかよみ  
みなさん、こんどの水害はたいへんでしたね。  
私は、テレビで見ました。私たちの村も三年前、水害にあいましたから、おそろしいことはよくわかります。  
死亡したり、けがを、したりした人たちは、ほんとうにかわいそうです。一日も早くかいふくすることを、私たちの学校全部で、いのつております。私たちの学校も、水害で学校がながされてしまいました。  
あなたたちのところも、家がたおれたり、田んぼは、海のようになつてしまつたそうです。  
けれども、何にもまげずにしつかりがんばつて下さい。  
さようなら

## かじか

四人に一人という「ガン」の恐ろしさと予防  
「貧乏人は麦を食え」「私はウンを申しません」あの独特なガラガラ声で、得意そうにブツた池田前総理はもういない。安保騒動で引退した岸元首相のバトンを継ぎ、国民がその動揺で不安のどん底にいたとき、池田勇人の性格からして誰しもが考えもしなかつた「寛容と忍耐」をあみ出し、「所得倍増」を唱えて著しい高度成長政策を推進した偉大なる政治家であつた。

▲それ以前に政治家で実力者の河野一郎氏、それ以後に作家で本県出身の高見順氏といった有名人を相ついで失つた。その死へ導いたものは何であつたか。それは「ガン」という病気の横綱であつた。現代医学の最高の治療をしても救い得なかつたガンの恐ろしさを国民の誰しもが再認識したのである。

▲一度ガン細胞にいつかれたら最後体中を骨と皮ばかりにくり荒らされ、あげくの果ては命をもぎとられる。その間の苦痛は、まさに生き地獄である。いくら切り取つても離れないガン細胞の恐ろしいガンが四人に一人の割合で発生しているというから驚く。全く他人事ではない。すぐ隣にガンがいるのだ。あまり有名であつたから騒がれたのであるが、この病魔と戦つている人々がどれだけの多いことか。▲そこで予防であるが、ガンの自覚症状は全くわからず、診断されたときにはすでに遅しという現状であるため、その発見が非常にむずかしい。ガンも初期にはなおる可能性もあるのだから、なる(四面につづく)

○ 努力しない天才よりも、努力する鈍才の方が仕事をやるだろう。

# 私の常識

## 時間盗人

「時は金なり」「光陰矢の如し」「一寸の光陰軽んずべからず」「歳月は人を待たず」時がどんなに尊く重んじなければならぬものであるかについて。他人の金や物を盗んだり権利や利益を侵害したり妨害した者は法律が之れを罰し社会も非難する。それなれば金品よりも尊い時を盗んだり侵害や妨害した者をなぜ同じように罰したり非難しないのだろうか。いくつかの例を挙げ

て反省して見たい。各種の会合や研修会等で割当時間を無視して、それ以上の時間を他人の割当時間から盗む者が必ずと言ってよいほどある。他人の尊い時間を盗んでしよやくべつていような人の言っていることはとおおそそ耳を傾けるに足らん内容であるといえよう。盗まれん為には、あくびでもして楽しい空想にでもふけるか、眠むることである。例え割当無くとも其の時間内に於ける個人の発言には自ら限度がある。此の種の盗みは偉い様に多く見受けられる。聞くべき時に私語して他人の聞く時間を侵害する者も多い。それは多く聴衆席にあ

る、特に女性に多いようであり、子供同伴の女性は他人の時を侵害しないように警告申し上げたい。例の二は遅刻者である。定刻に集まつた人の時を盗んだり妨害したりすることおびたしい。特に主催者が此の盗みをやることは許せない。又よく見受けられることだが、遅刻者に主催者や司会者が会が始められているにも係わらず、どうぞこちらへ、中には御丁寧にも今までの経過を報告して今こんな事をやっています、と謝罪がましく報告までです。こうなると遅刻者が悪いのか定刻出席者が悪いのか判断に苦しむことさえある。

例の三は終りの定刻についてである。時間勵行は始める時にのみ通用して終りの時には通用されないのはおかしい。昼の行事はバスや夕食に制約されて、ある程度守られているが、夜の行事ともなると「心配せんでも日は暮れん」なんて翌日になることもままある。夜は睡眠する基本的人権の最たるものである。お互に盗んだり盗まれたりされたくないものである。一秒の何百分の一の問題にする時代である。時間についても共同生活についても、もつともつと考えるべきではなからうか。

## いずみ論壇

### 災害復旧を早急に

災害は忘れた頃にやってくる。伊勢湾台風から七年、雨水害では史上最大とも言われる想像に絶する大きな災害がまたまた本村でも発生した。去る九月十四日朝から降り続いた雨は夜九時迄には実に一、〇〇〇ミリ以上と言う過去の記録にもない豪雨に見まれては被害は目にあまるものであった。今更大自然の威力の前には人間の力など無力に近い事がひしひしと感ぜられて毎年毎年台風におびえ、豪雪になやまされる人間の姿には一洸のあわれささえ覚えさせられた。人々は、また天災か人災かと口論をたたかわせているがこんどの災害についてはごく一部を除いては、全く人の力では如何ともする事の出来ない天災と見られている様である。専門筋の話では奥越の河川は確率雨量三〇〇ミリとしているので、普

通の雨量ならば十分に耐えられるとの事であるが、一時間に五〇〇ミリ以上も降る様では、どんな河川でもお手上げだそうである。奥越災害はまさに豪雨を超越したもので人の力ではどうにもならない。まさしく天災と言うより仕方がない様である。しかし、いま、あとに残された問題はたくさんある様だ。一四四戸のうち一三七戸が流失し埋没の災害に逢い、いまや集団離村の必要に迫られて居ると言うことなりの西谷村など廃墟と化した村にもやがては冬が来る。不安と焦燥の連続の状態の村人たち。全く人間尊重の上からも切実な問題である。本当にお気の毒である。吾々は被災者に力一ぱい救助の暖い手をさしのべよう。台風を完全に征服するためには、あらゆる構造物などの改善を行ない、たとえば河川の改修、住宅を鉄筋にするとか、道路の改修、護岸の完備、砂防堰堤の完備などと総べての点に総合的完全無欠なものにしなくてはならないが、しかしそれでも被

○ 広報は、として保存しましょう。

## 国民体育大会 マークの由来



国民体育大会のシンボルである火焰のマークは、昭和二十二年オリオン社同人で

害の皆無は望めないだろう。ただ備えあればうれいなし、被害を最小限度に喰い止めたものである。いまの場合には先ず一日も早く復旧させる事であり其の後に於て二度と同じ災害を繰り返さないため本格的改修の促進が必要である。私たちは大自然の恐怖におびえない、なやまされる事のない日の来るのが如何に待ち望ましい事だろう。

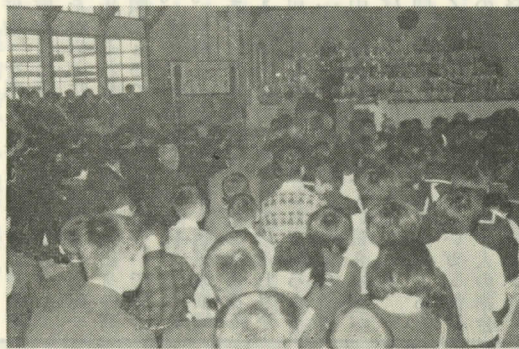
作製、片柳雄雄氏の選によつて創案せられたもので、火焰が右三十度に傾斜し、之を直径の十分の一の幅の円帯で囲んだのが正式である。このマークを描いた大会旗が、国旗として制定され、第二回国民体育大会(石川県)に初めて掲げられた。



- 制限速度を守ること。
- 無理な追い越しはやめること。
- 飲酒運転は絶対にやめること。
- 一時停止を励行すること。
- 除行を励行すること。
- 歩行のかたへ
- 横断は手を上げて合図をし、必ず左の安全を確かめて渡ること。
- 横断はなるべく車の流れの少ないと

(二面からつづく)  
べく早く発見することである。そのために一年に二回は定期診断をしてもらうのが理想である。ガンのみならずもろもろの病巣がわかるのも心強い。▲「天高く馬肥える秋」人間また肥えるとき、まさに食欲の秋であるが暴飲暴食は禁物。せいぜい長生きしたいものだ。

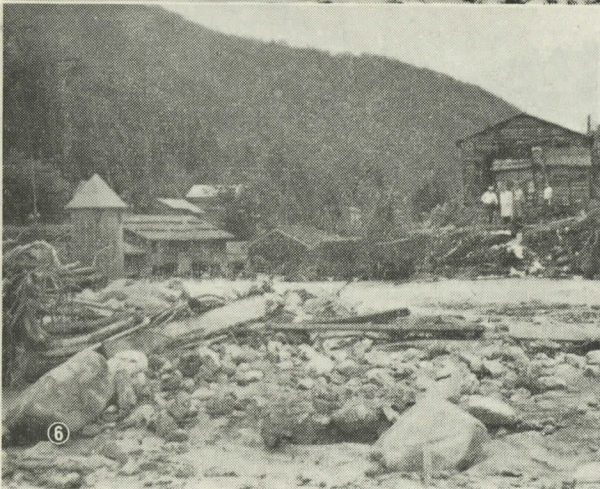
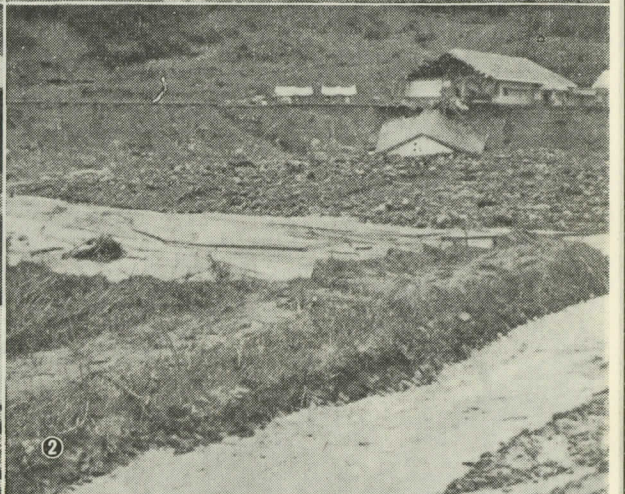
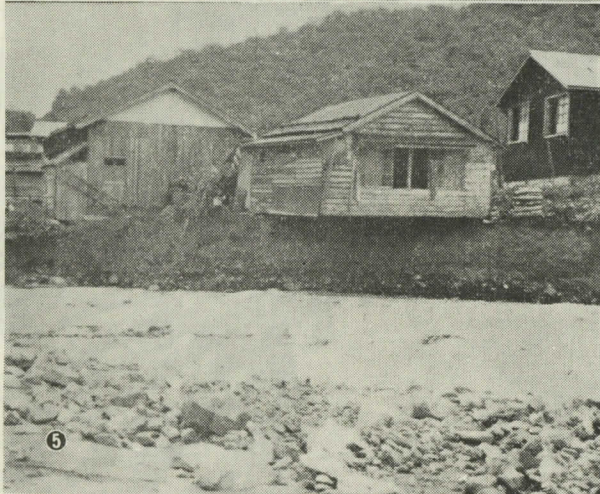
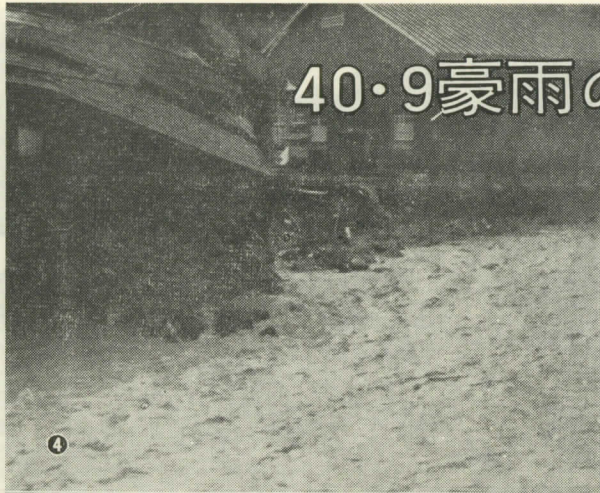
(写真は、慰霊祭会場)



## しめやかに慰霊祭

本年度、戦没者の慰霊祭は、十月三日午前十時から、朝日小学校においてしめやかに厳修され、地下に眠る九十五柱の英霊に対し村挙げて、心から追福をいのりました。きに、できるだけまとまって早く渡ること。●車のすぐ前や後を絶対に横断しないこと。

# 40・9豪雨のツメあと



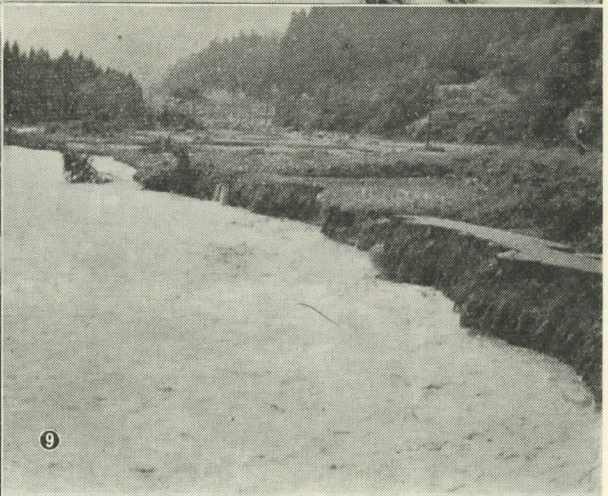
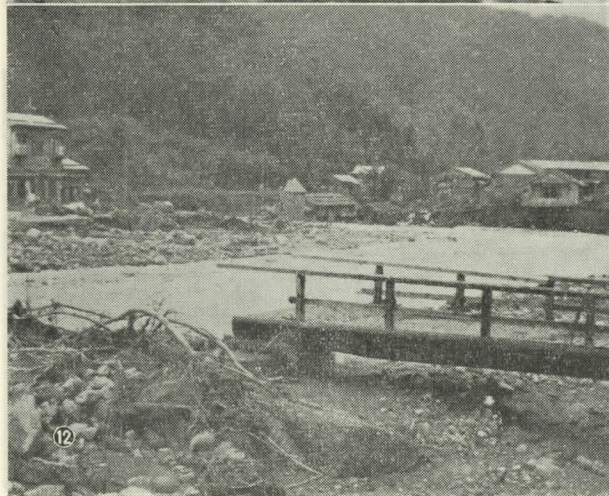
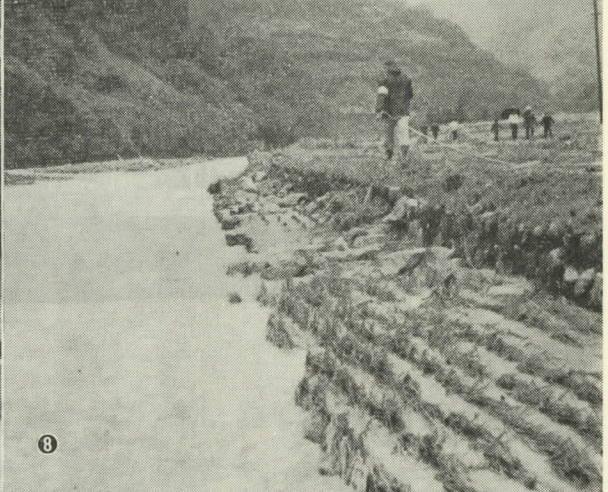
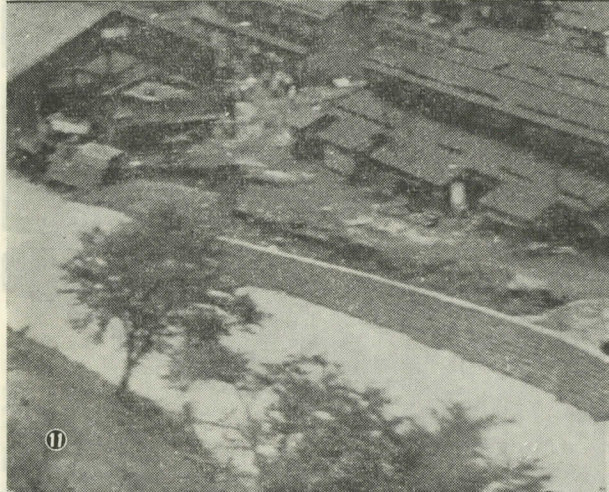
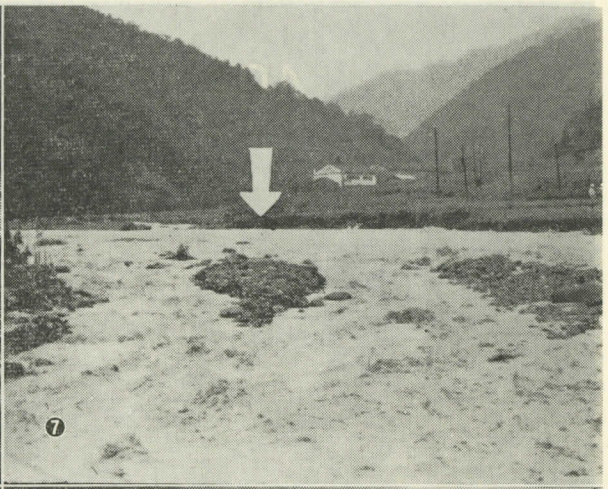
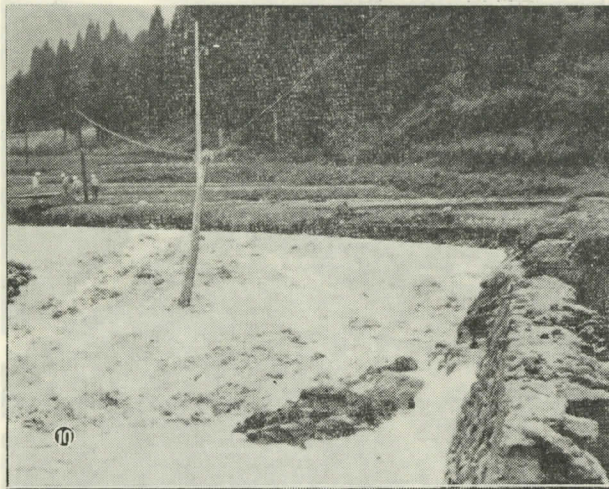
## 一、〇〇〇ミリの豪雨、中竜方面を襲う

- ①大災害の翌日、空(ヘリコプター)から中竜本事務所附近の惨状
- ②KK小牧組事務所前から①を望む
- ③道路もろとも基礎コンクリートの一部までエグリとられた選鉱事務所
- ④倒壊寸前の約二十度傾いた平和寮向う側大浴場
- ⑤平均台に上つたような、ひや汗を感じさせる福田筆吉さん宅
- ⑥役場中竜支所から、大原を望む
- ⑦白山神社附近から大川と化した大納川上流の被害現場
- ⑧刈取寸前の稲田も、この惨状では、(大納小学校裏方の大納川辺附近の惨状)
- ⑨濁流のウズとなつている下大納部落の上方附近
- ⑩スゲラ(下、上大納の中間位の地点)から、白山神社方面の惨状、田圃の中にあつた電柱も、今は濁流にもまねながら
- ⑪徹底的にいためつけられたが、唯一つ残つた大浴場の上方の堤防(後方支壁があつたため全壊を免れた)「生きた教訓」とでもいえようか!
- ⑫河川の上にかけた筈の橋だが、川の中心は遠慮しました(中竜診療所前の橋)

## 被災者に税の減免

このほど、大野税務署から、今時の被災者に対し、国税の減免等の取扱いをする旨通知がありました。すなわち

(六面につづく)



(五面からつづく)  
 災害を受けられた方は、申請によつて  
 税の減免、納税の猶予を受けることが  
 できます。くわしいことは、税務署ま  
 たは、役場税務係までお問合わせ下さ  
 い。

あ と が き

ためがだめになる

災害は、忘れた頃(七年目)に、また  
 もやつてきた。一、〇〇〇ミリノ一  
 寸想像もつかない位の豪雨が、本村で  
 は、中竜方面に集中された。七年前の  
 あの伊勢湾台風の生々しい光景が、ま  
 たも再現した。あれ以来、村において  
 も年々二億前後の復旧費をかけ、よう  
 やく完成に近くなつたのも束の間、ダ  
 ム問題が台頭し、折角の堤防も、水路  
 も、橋も、そつくりダム湖底に沈む  
 ことになつてしまつた。ゲチをこぼす  
 なノ と叱られることは承知ながら。  
 惜しいなあ、こんなことならその分だ  
 け補償の方へ廻せばよかつたのにノ  
 とは、異口同音にいつも耳にする言  
 葉ではある。

古老は「ためがだめになる」という  
 がけだし名言ノ、と言えようか。人生  
 は、自然に抗するには限度があること  
 を忘れてはならない。また、そこに生  
 きる力が湧いてくる筈でもある。「た  
 めがだめになる」反面「だめも亦ため  
 になる」のが人生でもある。七年前の  
 伊勢湾台風被害のいずみ特集を見て、  
 今また、四〇、九集中豪雨の写真を整  
 理しながら、一日も早く災害の復旧を  
 こいねがうものである。そして楽しい  
 平和な村のニュースが、この「いずみ」  
 の記事になる日を待ちつゝ。